

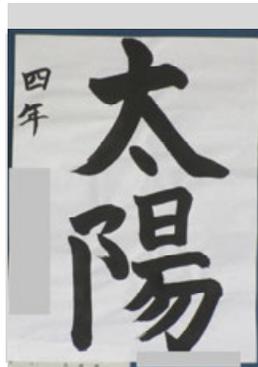
# ふたみきた

平成30(2018)年12月3日  
**12月号**  
 明石市立二見北小学校  
 学校だより 第439号

## 「今」をていねいに味わうこと 校長 赤松 弘一



12月は師走(しわす)と呼ばれます。由来には様々あるようですが、なにやら忙(せわ)しない年の瀬を感じさせます。毎日を振り返ると、ついつい「早くすませて、あれもせねば」「上手く、すばやく」など、とかく効率を考えて急ごうとしてしまいます。ゆとりをつくるために急ごうとして、かえってゆとりがなくなります。「早く」とか「上手く」は結果ですね。「ていねいに」はどうでしょうか。「ていねいに」は結果ではなく、その過程に気持ちを込めることですね。そうして結果的に早くてきれいにできればなおいいですね。そうでなくてもやり遂げた満足感があるのではないのでしょうか。



4年生の習字作品

書道家の武田双雲さんは「ていねい」について語っています。

「上手いとか下手とかにとらわれていては、心は安らかでなくなります。比較や評価の心はどこかに置いて、墨の美しさや香り、筆の毛の動きのこまやかさ、紙から返ってくる感触、それらをしっかり感じるとき、心が整っているのです。しかし人は早く上手になりたいとか、失敗するのはいやだ、ほめられたいという気持ちもあって、「今」を味わうことなく、未来への不安や対策にとらわれます。これが忙しくなる原因です。ていねいにやると遅くなるイメージがありますが、実は早い。心が安定しているので動きに無駄がなく、ミスも起こりにくい。ノイズがないので問題になるようなことを引き寄せないため、早いのです。結果として所作も美しくなるので、それに呼応するように筆も墨も共鳴してくれます。」

いつも先々のことに心を乱しがちな私自身のことを見透かされているように感じます。さらに武田双雲さんは言います。

「これは書道の世界だけではなく、日常のあらゆること全てに応用できます。起きる、着替える、顔を洗う、食べるなどの所作がていねいになると生活が豊かになり、心も体も円滑になっていき、人間関係も円滑になります。ひとつひとつの所作をていねいにするだけで人生は豊かになっていくのだと実感しています。」

私は小さい時から字が汚くてよく先生に注意されました。いまだに汚いまです。せつからで「意味が分かればいい」と早く書くことだけを考え、心をこめてていねいに書いてこなかったからです。心を整え豊かな気持ちで暮らしていくためには、今、目の前にあることに専念して、心をこめてていねいにやるのが大切なのですね。これは日本の「禅」の修養での心がけと同じだと思います。上手いとか下手とか、きれいか汚いとかではなく、ていねいにやったかどうか問われるのです。自分に欠けているこの部分を、これから少しでも直すように心がけること、これを私の来年度の抱負にします。

二見北小のご家庭や地域の皆様には、今学期も本校教育活動に温かいご支援をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。引き続き3学期もよろしく申し上げます

## ～学校いそご見つけ隊～ コミュニティー・スクール二見北小

二見北小学校では、コミュニティー・スクールとして、地域と共に子どもを育むという理念の基、学校を広く開放してまいります。特にオープンスクールの日に限らず、いつでもご来校いただき、普段の子どもたちの様子、教職員の授業や学年行事、掲示物など、遠慮なくご参観ください。学校の様子を知っていただき、いい所や気になる所を教えてください。子どもたちも教職員も励みになります。またより良い学校づくりにつながります。地域、保護者の皆様からの二見北小学校への熱い期待に応えていきたいと思っております。これからも応援よろしく申し上げます。

## 今月の予定

日	曜	
3	月	
4	火	きらきらの会 (4年・わかば)
5	水	朝会 Fタイム (サークル)
6	木	きらきらの会 (1年)
7	金	
10	月	
11	火	きらきらの会 (5年) 代表委員会
12	水	3年生以上6校時まで (3~6年 15:30 下校 17日個人懇談振替分)
13	木	
14	金	子ども安全の日
17	月	40分授業 (13:45 下校) 個人懇談会 学校保健委員会 (9:30~10:30)
18	火	40分授業 (13:45 下校) 個人懇談会
19	水	給食最終日 月曜時間割 3年生以上6校時まで 学期末大掃除
20	木	40分授業 (12:00 下校) 1年給食室探検
21	金	終業式 40分授業 (12:00 下校)
1月の主な行事予定		7日:始業式 一斉下校(12:00 下校) 8日:給食開始 席書会 2年生以上6校時まで 9日:Fタイム (サークル) 15日:子ども安全の日 代表委員会 16日:3年生以上6校時まで 17日:地震避難訓練 22日:6年心の劇場 23日:2年音読劇鑑賞会 Fタイム(クラブ見学) 24日:40分授業 (13:45 授業) 北っ子の集い 30日:3年生以上6校時まで



## 北っ子スペシャルメニュー給食



11月19日の給食は、「夏休みの自由研究」で募集した献立の中から2人の北っ子が考えた献立が選ばれて11月の献立として登場しました。メニューは2年2組の□□□□が考えた「中華スープ」と4年2組の□□□□が考えた「タコライス」です。

☆栄養教諭の先生から  
 生のレタスが給食では使えないのでキャベツをゆでてそえるなど本場のタコライスに近づけられるように工夫しました。



☆  
 ぼくは中華スープが好きでよく食べているので、みんなにも食べてもらいたくて中華スープのメニューを考えました。

☆食べた人からの感想  
 ・タコライスははじめて食べたけど、おいしかったです。  
 ・タコライスとスープの組み合わせがよく合っていました。



☆  
 みんながおいしいと言ってタコライスを食べたので、タコライスのメニューを考えて良かったです。



# 音楽会 2018



ぼくは、がっそうの「ドーシドド」のところがここにのこりました。一ばんさいごだから、しっかりととまることができてよかったとおもうからです。うたは、はくしゅをもらえて、うれしかったです。(1-4 )

わたしは、音楽会の歌の「レッツゴー！明日へ」では、にこにこしたり、かなしそうにしたりすつなどといったひょうじょうに気をつけて歌えました。合奏の「名たんていコナンのメインテーマ」では、しきしゃの先生を見ながらえんそうできました。本ばん前に先生から「1回目からしなはれや」と言われ、1回目に上手にできてよかったです。らい年は今よりも上手にできるようにがんばりたいと思います。(2-1 )

今年の音楽会は、全て良かったです。リコーダーは、きれいな音色でふけ、歌は高い声の場所も上手く出来ました。合奏「ダンシングヒーロー」は、指揮者を見て、最初の部分を全員が音をそろえることができました。スローガンを守り、次の2年生につなげることができたと思います。来年も今年以上にもっと頑張りたいです。(3-3 )

音楽会の歌は、はじめは普通に歌っていたけど、練習していくと、口を開けて表情を豊かにして歌うと、より気持ちのこもった歌になることがわかりました。わたしはそれが苦手なので、楽しいことを思い出して、とにかく笑顔で歌うことを意識しました。今まで先生に言われてきたことやがんばってきたことを発揮することができたので良かったです。(4-2 )

私は、音楽会本番ですごくきんちょうして、足がふるえました。でも、合唱も合奏も大成功だったので、うれしかったです。指揮者をしっかり見て、しき通りに合わせると、きれいに始まってぴったり終わることが出来ました。児童鑑賞会では、ずれた所もあったけれど、それが本番で生かされたのでよかったと思いました。(5-2 )

私は、音楽会をくいなくやりきることができました。合唱では、高学年の歌い方ができるように、歌詞の意味を考えながら伝えるために歌えました。合奏では、今までの練習で積み重ねてきたことをしっかり発揮して、指揮者を見てみんなと息を合わせて頑張りました。6年間のしめくりとしての音楽会もしっかりやりきることができました。これからも、音楽会と同じように成長できるように、卒業式に向けてみんなと頑張っていきたいです。(6-3 )



## 4年生 手話体験



耳が不自由な方がどれだけ不便かがわかりました。また、手話を覚えるまで何年もかかるという話を聞いて、自分の意思を伝えられるようになるまですごく時間がかかるのを知りました。これから耳の不自由な方にあったら、手話やみぶりをを使って話をしたいと思いました。手話を教えてくれてありがとうございました。(4-1 )

耳の不自由な人が相手に考えや思いを伝えるには、手話だけでなく、文字・筆談・指文字・口話・表情・体の動きなど、色々なやり方があると知りました。北島さんと足立さんはつらい気持ちだったと思うけど、すごいと思いました。電話のときもファックスを使うという工夫を知りました。これからは、もしものときのために、手話を覚えたり使ったりして、耳の不自由な方ともお話をしたいと思いました。(4-2 )

ぼくは、足立さんと北島さんは耳が聞こえなくてかわいそうだと思っていました。でも、会ってみると笑顔で、元気があって耳が聞こえない人とは思えませんでした。もし、自分の耳が聞こえなかったらぼくは落ちこんでしまうけど、2人はぜんぜん落ちこまず自分から前へ進もうとしているすがたがかっこいいと思いました。(4-3 )

## 明石市内特別支援学級合同野外活動

11月21、22日に明石市内の特別支援学級合同の野外活動がありました。この野外活動がより良いものになるように、「わかば総合」の時間では、みんなであてを考えたり、お互いに相談して係を決めたりして、話し合いや準備を進めてきました。

当日は、自分より小さい学年の子が困っているときは優しく声をかけて教えてあげる姿が見られ、どの活動にも意欲的に取り組みました。野外活動に初めて参加するお友だちも最後まで楽しく参加することができました。他の学校のお友だちとも交流し、思い出いっぱいの野外活動となりました。

